

神戸大学（食資源教育研究センター）の牛が優良賞を受賞しました

6月14日（金）、加古川食肉公社食肉センターで開催された令和6年度たじま牛枝肉共励会にて、神戸大学（食資源教育研究センター）の肥育牛（雌）が、出品牛29頭の中で「優良賞」を受賞しました。

受賞した肥育牛の父は「富亀土井」、母方祖父は「宮喜」で、兵庫県下で希少となっている城崎系統を母方の血統にもつ個体での受賞は、遺伝的多様性の維持も意識した但馬牛全体の改良にとっても大きな意味をもつものと考えられます。

また、受賞した肥育牛の月齢は29ヶ月齢と但馬牛の雌牛としてはかなり若く、肥育期間を短縮することで効率的な肉牛生産を目指す近年のトレンドを体現している点にも価値があると考えられます。

枝肉重量は432 kg、最高等級のA5ランクに各付され、セリでは5,070 円/kg で落札されました。

